

●ゴールデンウイークにおける道内各地域への周遊促進について

札幌市では、道内の魅力資源と道都札幌の都市機能を融合させながら北海道の魅力をさらに高めるため、各分野における近郊市町村や中核都市との連携に積極的に取り組んでいるところです。

さっぽろ広域観光圏内 8 市町村それぞれの自然や歴史、食などを生かした地域特有の観光スポットを巡る、ゴールデンウイーク期間に訪れてほしいお薦め観光ルートを、さっぽろ広域観光圏推進協議会の公式サイト「さっぽろ観光ナビ」で紹介するほか、道内中核都市による道内周遊促進事業として「北海道 6 都市スタンプラリー」を今年度も実施するなど、道内各地域への周遊を促進していきます。

1 さっぽろ広域観光圏お薦め観光ルートについて（詳細は別紙）

(1) お薦め観光ルート

- ① 道産素材を堪能！グルメコース <当別・新篠津エリア>
- ② 新鮮とれたて！産直と市場をめぐるコース <石狩エリア>
- ③ 野生の動植物と触れ合いながら北海道の歴史を学ぶコース <江別・札幌エリア>
- ④ 地元の素材を使ったスイーツと自然を満喫コース <北広島・恵庭・千歳エリア>
- ⑤ 札幌南エリアで大人の楽しみ方を <札幌南エリア>

(2) さっぽろ広域観光圏推進協議会公式サイト「さっぽろ観光ナビ」

主に札幌を来訪する観光客に対し、札幌の観光名所や食・イベントなど、札幌の魅力を紹介するサイト。また、その中で、さっぽろ広域観光圏内の観光情報として、上記お薦め観光ルートのほか、近隣市町村の周遊を促進する情報も掲載。

○ URL (<http://sapporo-kankou.jp/>)

2 北海道 6 都市スタンプラリーの実施について

(1) 実施主体：道内 6 都市（札幌・函館・旭川・釧路・帯広・北見）で構成される「道内中核都市観光連携協議会」

(2) 概要：

6 都市の魅力的なスポットを巡るスタンプラリーで、各都市 15 カ所のスポットを紹介している。一つの都市につき三つのスポットを訪れて応募すると、抽選で 320 人に商品が当たる。なお、賞品は、「1 都市賞」から「6 都市賞」までの 6 種類がある。

(3) 実施期間：平成 25 年 4 月 20 日（土）～12 月 19 日（木）

(4) 応募方法：

携帯電話等の GPS 機能を活用して応募するか、ガイドブックに付いているはがきにスタンプを押印の上、応募する。

(5) ホームページ※：<http://www.6toshi.jp/m/>

※ 札幌市公式観光情報サイト「ようこそさっぽろ」(<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>)にも掲載。

問い合わせ先

観光文化局観光コンベンション部観光企画課 高松、藤巻

電話：211-2376

道産素材を堪能！ グルメコース ＜当別・新篠津エリア＞

スウェーデンヒルズのレクサンド記念公園で石狩平野を一望。スウェーデン風の町並み見学、交流センターでの展示見学、ガラス体験などもおすすめ。



住所 当別町スウェーデンヒルズ

↓ ふれあい倉庫まで道道81号と道道366号で約6.3km

JR当別駅前のふれあい倉庫で旬の野菜を購入したり、「そば切り高陣」のピザを堪能。

住所 当別町錦町294-4
電話 0133-27-6600
当別産小麦粉(ゆめちから、きたほなみ)をブレンドした生地に、当別町の(有)浅野農場SPF豚のベーコンや旬の野菜をトッピングした、もちもちした食感のピザ。ふれあい倉庫店内では地場産品や「地元産」の野菜や花などを豊富に販売している。



↓ しんしのつ温泉たっぶの湯まで道道366号、道道81号、国道275号、道道81号、道道139号で約13.1km

しんしのつ温泉たっぶの湯でのんびり。

住所 新篠津村第45線北2
電話 0126-58-3166
日帰り浴 大人600円 子供300円
源泉かけ流しの天然温泉。5月上旬(予定)から収穫体験も可能。詳細は問い合わせを。



道の駅しんしのつ＜5/1～(予定)＞

併設の、しんしのつ「産直市場」では地元の加工品、食材などを販売。夏場になると村特産のどぶろくに漬けた鶏の半身揚げ「どぶカラくん」、しんしのつ産のイチゴを使用したソフトクリームなどが販売される。

そのほか周辺のおすすめスポット

【道民の森】＜5/1～10/31の開園予定＞

深い大自然と触れ合いながら、「遊んで、体験して、学ぶ」ことができる。パークゴルフ、トロッコ、サイクリングなど施設が充実。



住所 当別町青山奥

電話 0133-22-3911 (道民の森管理事務所)

【伊達記念館・伊達邸別館】＜5/1～10/31＞

明治4年仙台藩岩出山(現宮城県大崎市)の領主伊達邦直によって開拓の歴史が築かれた、当別ゆかりの歴史の品々を見ることが出来る。

住所 当別町元町105

電話 0133-22-3834(当別町教育委員会社会教育課)

【ノルトエッセン】

(GWから営業予定だが、雪の状況により前後する可能性あり)

北海道物産展や通販でも人気のノルトエッセン。学園都市線沿いの一軒家で地元の素材にこだわった無添加・天然酵母のパンを製造・販売。

住所 当別町金沢2006-1

電話 0133-25-5110

新鮮とれたて！ 産直と市場をめぐるコース ＜石狩エリア＞

水揚げされたばかりの新鮮魚介を朝市で購入。

※3か所とも売切れ次第終了

石狩湾漁協朝市＜4/1～7月中旬の毎日＞

6:30～14:00頃

住所 石狩市新港東4-800-2

TEL 0133-62-3331

あつた港朝市＜4/1～10月中旬の毎日＞

6:30～14:00頃

住所 石狩市厚田区厚田7-4

電話 0133-78-2006

浜益ふるさと市場＜4/21～6/9の毎週(日)＞

7:00～12:00頃

住所 石狩市浜益区浜益2

電話 0133-79-3225



↓ 石狩湾漁協朝市まで国道337号と道道225号で約8.3km

JAIしかり地物市場「とれのさと」で採れたて野菜をお買い物。4月は根菜中心、5月上旬～葉物やアスパラなどを販売予定。午前中に売り切れる商品もあるので注意。

住所 石狩市樽川120-3

電話 0133-73-4500

↓ 「とれのさと」から国道231号を北上し、石狩河口橋手前の道を右折して700～800メートル進んだ左手。約10km

マクンベツ湿原を散策。延長400m、幅1mの木道を渡りながら、野鳥のさえずりや白く可憐なミズバショウの群生を間近で楽しめる。

住所 石狩市船場町

電話 0133-62-4611(社)石狩観光協会

アクセス 国道231号を北上し、石狩河口橋手前の道を右折して700～800m

進んだ左手。開花情報は(社)石狩観光協会 HPへ。



そのほか周辺のおすすめスポット

【あいロード夕日の丘観光案内所】

住所 石狩市厚田区厚田12-4

電話 0133-78-2000

日本海に沈む夕日が一望できる絶好のロケーション。厚田そばやソフトクリーム、厚田産野菜、手作りみそなどの地場産品も販売。



【はまなすの丘公園】

住所 石狩市浜町

約46ヘクタールの公園には180種の海浜植物が自生し、春から秋にかけてイソスミレ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、エゾスカシユリ、コガネギク、6月下旬～7月にはハマナスなどの花を見ることが出来る。

【ふじみや製菓・そば処 富士味屋】

住所 石狩市浜益区川下

電話 0133-79-2303

蕎麦は北海道産石臼挽き蕎麦粉使用の自家製麺、どら焼きは職人による実演販売で、午前中は焼きたてが味わえる。

【日本海】

住所 石狩市浜益区川下

電話 0133-79-3034

山や海の食材に恵まれたエリアにあり、長期宿泊者はもちろんお昼の食事のみも可能。帆立ごはん定食1,260円 海鮮丼1,700円 など。

野生の動植物と触れ合いながら北海道の歴史を学ぶコース ＜江別・札幌エリア＞

野幌森林公園

住所 江別市西野幌 ほか
野幌森林公園自然ふれあい交流館
住所 江別市西野幌685-1
電話 011-386-5832
四季を通じて自然観察会やガイドツアーを実施。



公園内には草花を楽しむコースや、野鳥を観察できるコースなど森林浴と自然散策のコースが十数種類。春から夏にかけて野鳥の活動が活発になる早朝に出かけるのがお勧め。瑞穂の池などでは水鳥も観察可能。

野幌森林公園自然ふれあい交流館から、車で国道12号を通り約3.3km。園内の遊歩道を徒歩で3km

北海道開拓の村

住所 札幌市厚別区厚別町小野幌50-1
電話 011-898-2692
北海道開拓時代の建物や資料を通して、当時の生活の様子や歴史を知ることができる。ボランティアによるガイドツアーや馬車鉄道(有料)での村内の移動も可能。



園内移動、車ですぐ

北海道開拓記念館

住所 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
電話 011-898-0456
常設展では北海道ができる40万年前から近代に至るまでの歴史と文化が展示されている。



地元の素材を使ったスイーツと自然を満喫コース ＜北広島・恵庭・千歳エリア＞

旧島松駅通所＜4/28～11/3＞

住所 北広島市島松1番地1
電話 011-373-0188
(北広島市教育部 文化課)
駅舎と人馬を備えて、宿泊と運送の便を図るため明治6年、札幌本道(現在の国道36号)の開通に伴い設置。寒地稲作の父、中山久蔵が経営し、クラーク博士が立ち寄り「青年よ大志を抱け」という名言を残した舞台でもある。



花ロード恵庭まで国道36号で約5.3km

花ロード恵庭で、えびすかぼちゃのスイーツを堪能

住所 恵庭市南島松817-18
電話 0123-37-8787
恵庭産の土産品などを扱ったショップ8760(花ロード)、焼きたて手作りパンのベーカリー工房 カリンバ、恵庭産の食材を使ったコンサバトリーなど、地元産素材を使ったメニューを展開。えびすかぼちゃソフトクリーム、プリンなども人気。



ラルマナイ自然公園まで国道36号と道道117号で約19km

ラルマナイ自然公園の滝のマイナスイオンでパワー全開

住所 恵庭市盤尻
電話 0123-33-3131
(恵庭市役所経済部花と緑・観光課)
道道恵庭岳公園線のラルマナイ川沿いに、白扇の滝・ラルマナイの滝・三段の滝など大小3つの滝が点在。売店のばんじり897では、えにわ限定「オリジナルジェラート」なども販売。



支笏湖ビジターセンターまで道道117号と国道453号で約30.5km

パワースポット支笏湖で日帰り入浴も支笏湖ビジターセンター

住所 千歳市支笏湖温泉番外地
電話 0123-25-2453
周辺の自然情報や支笏湖の見どころとして自然散策情報も発信。
支笏湖温泉旅館組合
支笏湖温泉は原生林の湯として皮膚の表面をやわらかくし、トロリとしたお湯でツルツル肌になるといわれている。支笏湖の温泉宿8施設 <http://www.shikotsuko.com/>



そのほか周辺のおすすめスポット

【くるるの杜】

住所 北広島市大曲377-1
電話 011-377-8700

農村レストランや農畜産物直売所での食事や新鮮野菜の購入のほか、体験農場や調理加工体験なども可能。

【スパル農園】イチゴ狩り＜12～5月下旬のみ＞

住所 恵庭市柏木町568
電話 0123-33-6381

※熟れたいちごがなくなり次第閉園。イチゴの生育状況や来園状況によっては、臨時休業する場合もあり。来園前には、必ず電話にて確認を。

【えこりん村】＜4/27～＞

童話の世界のような風景やバラが素敵なお庭園「銀河庭園」、アルパカをはじめ、動物達や牧羊犬ショーがある「みどりの牧場」などが楽しめる。

住所 恵庭市牧場277-4

電話 0123-34-7800 (4～9月 9:00～17:00、10月 16:00)

札幌南エリアで大人の楽しみ方を ＜札幌南エリア＞

札幌もいわ山展望台から札幌の街はもちろん、石狩湾、恵庭岳までを一望。
住所 札幌市中央区伏見5丁目3-7
電話 011-561-8177
山頂展望台内のレストラン「THE JE WELS(ザ ジュエルズ)」からは札幌の街が一望でき、ランチ、ディナーが楽しめる。「スターホール」では、札幌の街や藻岩山を最新の3D映像で無料で紹介するほか、著名なプラネタリウムクリエイター・大平貴之氏設計のプラネタリウムを上映している(大人700円)。



エドウィン・ダン記念館まで藻岩山観光自動車道、道道82号と国道453号で5.8km

エドウィン・ダン記念館で北海道酪農の父を学ぶ
住所 札幌市南区真駒内泉町1-6-1
電話 011-581-5064
真駒内は、農業・畜産の普及のため、明治9(1876)年札幌に来たお雇い外国人エドウィン・ダンが原野を切り拓いて広大な牧牛場を築いた場所。エドウィン・ダン記念公園も、牧牛場の第1号牧舎を建てたゆかりの深い場所で、散歩やジョギングを楽しむことができる。



旧黒岩家住宅まで国道453号と230号で8.8km

旧黒岩家住宅(旧簾舞通行屋)で開拓時代の農家の暮らしを見学
住所 札幌市南区簾舞1-2-4-15
電話 011-596-2825(旧簾舞通行屋)
札幌から定山溪を経て有珠へ往来する旅行者や、荷物を運ぶ人馬の宿泊・休憩所として開拓使によって建てられた、札幌に残る唯一の通行屋。最古の開拓農家の住宅で、且つ役場の出張所や私設教育所(簾舞小学校の前身)などにも利用され、地域の歴史を物語る貴重な建物。

サッポロピリカコタンまで国道230号で5.2km

札幌市アイヌ文化交流センター サッポロピリカコタン
住所 札幌市南区小金湯27
電話 011-596-5961
北の大地に先住し、独特の文化を育んできたアイヌ民族の生活や歴史、文化などを楽しみながら学ぶことができる。展示室には伝統衣服や民具など約300点が展示され、屋外には昔アイヌ民族が住んでいたチセ(家屋)やヘベレセツ(小熊の飼育おり)、ブ(倉)などが当時のように再現されている。



定山溪温泉まで国道230号で4.7km

定山溪温泉
定山溪の歴史は古く、慶応2年(1866年)修験僧・美泉定山がアイヌの人々の案内で泉源と出会った時に始まる。幾多の困難を乗り越え温泉の礎を築いた定山の功績から、「定山溪」と命名。定山没後も、恵まれた自然環境とその豊富で良質なお湯とともに街は発展し、今日も人々の心と体を優しく癒す『札幌の奥座敷』と呼ばれている。
定山溪観光協会 <http://jozankei.jp/>



そのほか周辺のおすすめスポット

【北海道立真駒内公園】

住所 札幌市南区真駒内公園1-2
豊平川と合流する真駒内川が園内を流れ、西南の丘陵部には豊かな自然林が繁茂し、自然の風景観の基調となっている。5月上旬には可憐なピンクのカタクリが咲き誇り、ミズバショウの群生地でもある。

【札幌南区フルーツ街道】

何れも開園期間は個別に問い合わせを。
<http://www.welcome.city.sapporo.jp/play/orchards.html>
札幌市内の果樹園は、南区の白川、豊滝、砥山付近に集中している。国道230号を南(定山溪温泉、ニセコ方面)へ向かう。南区石山一条あたり、藤野方面へ右に入る道路があるので、信号を右折。豊平川沿いに進んでいくと、両側にいろいろな果樹園の看板が見えてくる。6月のイチゴ狩りに始まり、11月のリンゴまで、その間、サクランボ、モモ、プラム、ブドウ、ナシ、など、さまざまなフルーツが楽しめる。自分で採って食べてもよし、直売スタンドで買うもよし。この辺りから定山溪温泉までは、車で15分程度だ。フルーツ狩りのあとの温泉もいい。

【小金湯温泉】

湯元小金湯
住所 札幌市南区小金湯25
電話 011-596-2111
湯元 旬の御宿 まつの湯
住所 札幌市南区小金湯24
電話 011-596-2131

【佐々木観光果樹園】

住所 札幌市南区定山溪832番地
電話 011-598-4050
開園期間は電話又はメールにて問い合わせを。

定山溪温泉から豊平峡ダムまで国道230号と札幌市道定山溪一番線で 6.5km

豊平峡ダム

住所 札幌市南区定山溪840番地先
電話 011-598-3452
豊平峡は豊平川の治水である豊平峡ダムを中心に、湖と緑が織りなす雄大な自然の景観美あふれる、札幌有数のレジャー・スポット。
札幌市名の由来は、アイヌの人々が豊平川を「乾いた大きな川」を意味する「サッポロ・ベツ」と呼んでいたことから、「札幌」という地名になりました。札幌市の給水需要は豊平川によって98%もカバーされています。

